

2学期が始まった！〇〇の秋！

台風の影響の雨の中、子どもたちは夏休みの宿題を抱えながら元気に登校しました。始業式には転校してきた9名の新しい友達加わりました。9月1日は防災の日ですが、この日から耐震化工事により、地震に強い校舎・体育館になったことを喜ばしく思います。また、台風等の警報発令による休校の基準が、「生駒市」に統一されました。詳しくは9/1のプリントをご覧ください。

さて、大きな行事である運動会は、今年は10/15です。残暑を避けて運動会の練習は9月20日から始まります。運動会後には、読書週間、地域ぐるみ運動会、文化鑑賞会(演劇)と続きます。スポーツの秋・読書の秋・文化の秋、そして勉強の秋・・・様々な活動に精一杯取り組んで実りのある秋にしましょう。

いつもと違う夏休み中の校内風景



環境委員会の1学期栽培担当の人たちが種をまいて大切に育てたヒマワリが8月中大きな花を咲かせていました。花鹿クラブの方がそとと肥料を撒いてくださっていました。

大規模な耐震工事で大きな音を避けるため、運動場の隅っこに夏休み限定でウサギ小屋が引越しました。暑い日が続きましたが元気に過ごしていました。学童で時々草をあげている子もいました。

9月のめあて 持ち物を大切にしよう

身の回りの持ち物はすべて作った人の仕事の結果生まれたものです。こわさないように大切に使いましょう。もしなくても戻ってくるように名前をきちんと書いておきましょう。

廊下を歩こう

廊下は右側を歩くのは当たり前のことですが、急いで走ってぶつかりそうになって危険です。雨の日は特に注意しましょう。

絹谷幸二さん「子ども 夢・アート・アカデミー」で来校



チェスキーニ氏の肖像 1986年

奈良市出身の画家、絹谷幸二さん(長野オリンピックの公式ポスターや奈良100年美術館内外の多くの公共施設の壁画で知られる現代具象絵画の第一人者)が、文化庁の事業で12月に来校され、4年生対象にお話や実技披露をしていただく予定です。左の絵は今夏の県立美術館の企画展で展示されたものです。

今月の言葉「ひまぐれ」(ひま+きまぐれ)

この言葉は、私が遙か昔に作った造語です。数学が苦手な中学生に、ガチンコチンに勉強するより、ひまぐれに数楽しようと言った言葉です。数学に限らず、気持ちに余裕を持って、先入観にとらわれず、好奇心いっぱいにしたほうが知恵や知識が身に付くと思います。そのころ読んだサロウヤンの小説の題名「the whole voyald」(むなしい旅の世界とほんものの天国)の中のvoyald(voyage+world)をヒントにしました。



九州新幹線が全面開業の朝、博多から南下する“つばめ”と、鹿児島から北上する“さくら”、二つの新幹線の一番列車がすれ違う瞬間に奇跡が起きて願いがかなうというわさを耳にした、離れて暮らす小学6年生と4年生の兄弟が、奇跡を信じて家族4人の絆を取り戻したいと願い行動を起こす物語。秋に天六や千里の映画館で上映されます。子どもが主人公の映画といえば、昔見たインドネシア映画「青空がぼくの家」を思い出しました。極端な

貧富の差を超えて友情を深める2人の少年の物語です。とってもいい映画でしたがDVDになっていないのが残念です。

シーバ(芝生)ちゃんニュース

運動場芝生化から、3年目の夏が過ぎました。運動場の東側を除く芝生ゾーンの中で所々はげている場所を、6月にグリーンクラブの皆さんの応援で芝苗800苗を補植しました。その結果芝生ゾーンはすべて緑で覆われました。8月末に簡易デジタル温度計で地面と地上80cmで測定すると、芝生の方が地面で2.5度、地上80cmで1.9度低い値でした。熱中症対策で芝生が効果があると感じていましたが、確かめることができました。



①

上② 下③

④



⑤

⑥

⑦

⑧